

## 12月11日 サウスサンドウィッチ諸島の地震

2018年12月11日11時26分(日本時間、以下同じ)にサウスサンドウィッチ諸島の深さ165kmでMw7.1の地震が発生した。この地震は、サンドウィッチプレートの下に沈み込む南アメリカプレート内部で発生した。発震機構(気象庁によるCMT解)は、プレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型である。

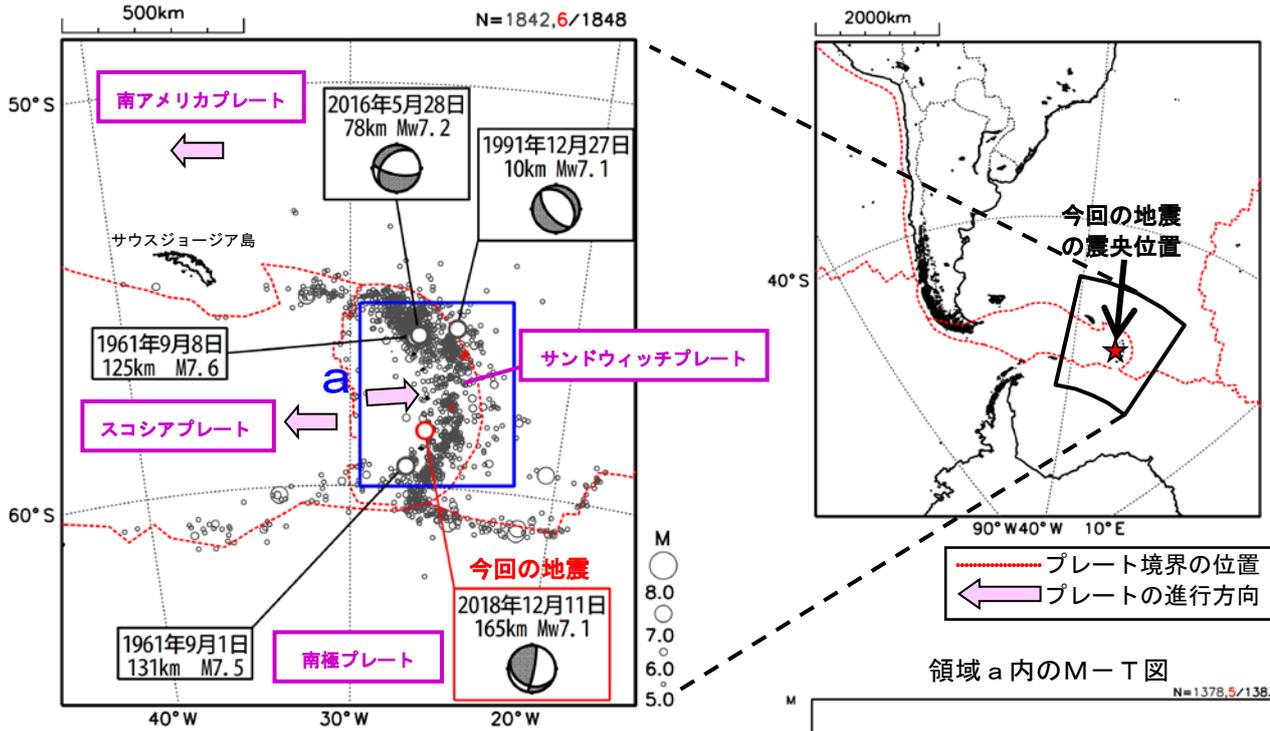
気象庁は、この地震に対して、同日11時52分に遠地地震に関する情報(津波の心配なし)を発表した。

1960年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域a)では、M6.0以上の地震が度々発生し、M7を超える地震は今回の地震を含め4回発生するなど、活発な地震活動がみられる。1920年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域b)では、M7を超える地震が度々発生している。

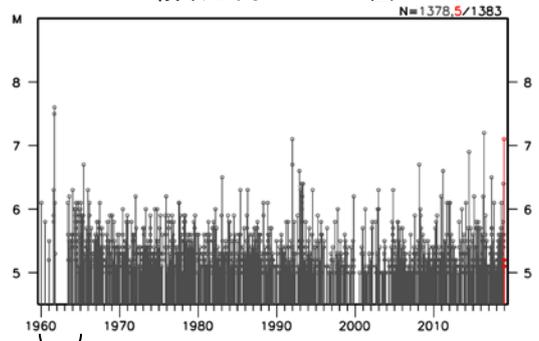
震央分布図

(1960年1月1日~2018年12月31日、深さ0~300km、M $\geq$ 4.5)

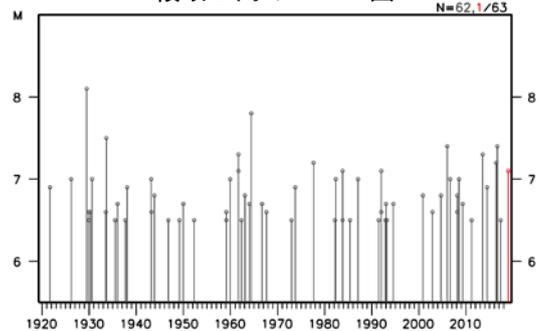
2018年12月の地震を赤く表示



領域a内のM-T図

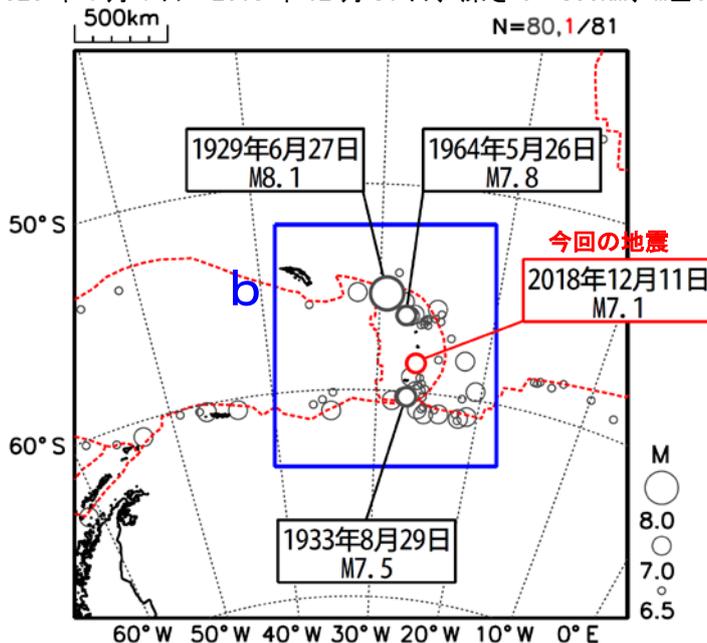


領域b内のM-T図



震央分布図

(1920年1月1日~2018年12月31日、深さ0~300km、M $\geq$ 6.5)



※本資料中、今回の地震、2016年5月28日の地震の発震機構とMwは気象庁、その他の地震の発震機構とMwはGlobal CMTによる。また、震源要素は、1920年から1959年までは国際地震センター(ISCHEM)、1960年以降はUSGSによる(2018年12月31日現在)。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)\*より引用。

\*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.